

## 別保ヤングサポートパトロール隊（大分県）

### 活動地域と団体の概要

私どもの別保ヤングサポートパトロール隊は、地域の子どもは地域のみinnで育てようを共通認識としまして、地域の安全を守り、地域の子供を育む防犯活動を行っております。地域の紹介になりますけども、大分市別保地区は、大分市の東部に位置し、臨海工業地帯がベッドタウンとして、また、沿道には多くの店舗が立ち並ぶ活気あるまちとして発展をしております。



当隊が活動してる別保地区は、人口がおよそ1万7,300人、世帯数は6,800世帯という大分市では大きな住宅地でございます。すぐ近くに大分トリニータのホームグラウンド大銀ドームがございまして、数年前は日韓共同開催のワールドカップが行われ、通常はJリーグの公式試合が行われている、そういう地域でございます。

団体の概要につきましては、当会は平成10年7月、従来からあった青少年健全育成会のパトロール隊と自治会の自主防犯パトロール隊を統合し発足しました。地域の子供は地域のみinnで育てようを合言葉に、自治会、青少協、民生委員、青少年補導員、交通指導員、それから中学校のPTAの先生が15団体に働きかけて各団体を結束する形で行動しております。

現在約550人で構成されており、自主防犯活動を継続していくためには若い世代の参加が重要であると考えて、もともとPTAに在籍し、子育てが一段落した40から50歳代を中心に参加を呼びかけております。

### 活動の概要

活動の内容、特長としまして、これは夜間パトロールの活動ですけども、青少年の非行防止及び健全育成のための活動ということで、月3回、校区内3つと自治区内を4から5コースぐらいに分けて、約1時間ほどパトロールしております。小中のPTA、各自治会、それから青少年健全育成会のリーダーも出まして、輪番でパトロールを割り当てております。



#### 夜間パトロール活動

（青少年の非行防止及び健全育成のための活動）

通常、補導員さんとかがおりますので、そういった方に責任者として指導等していただきながら活動をしています。毎回、約50~60人の単位でパトロールを行っておりまして、そ





枚の紙にまとめます。

続きまして、登下校時の見守り活動です。住宅街ですが、車の量は多いものの人通りが少ないことから、防犯と交通安全を合わせて見守ります。年配の隊員を中心に、無理なく気長にできる取り組みです。小中学生の登下校時間に合わせた、自宅前や自宅周辺での見

守り活動、あいさつ運動を行っております。登下校の予定時間は、学校から地区の公民館経由で連絡があります。



地域の安全活動は、随時、青色回転灯車両による見守りパトロールを行っています。また、振り込め詐欺撲滅のために、年金支給日である偶数月の15日には、警察とも連携をして銀行などの金融機関、ATMの設置場所での被害防止を呼び掛けるチラシを高齢者に配ります。年末には、自転車の鍵掛け

注意を促す活動も行っております。この写真は、地域安全活動の学習会で、小学校の体育館で小中学校の子供たちや保護者を集めまして、痴漢に遭った場合の対処法などを学んでいます。写真右側は、小中学生の交通安全教室です。



子ども見守り隊というプレートを作っております。これは自転車用で、自転車のかごにこのプレートを付けています。校区の地域の皆さん方、小学校の先生と保護者、中学校の先生と保護者、それから子供たちが立ち寄るお店にプレートを配り、貼ってもらっています。学校と保護者と地域と商店街が

同じものを使うことで、子供の見守りに対する共通認識を持っていただいています。

地域交流活動としては、子供たちが敬老会に参加して歌を歌ったり、地域の皆さんを招いて「別保出会いふれあい音楽祭」を開いています。あるいは、校区内の鶴崎中学校で、地域の清掃活動後に子供たちが作ったお餅をぜんざいにして、地域の方と一緒に食べています。このように学校だけではなくて、課外授業といえますか社会体験活動への参加もいろいろ工夫しています。

こういった活動の頻度ですが、夜間パトロールにつきましては月3回、そのうちの第2土曜日と第4金曜日は19時から20時まで約1時間かけて夜間パトロール活動をしております。第3金曜日は22時から23時の深夜パトロールをしております。登下校時の見守り活動は毎日です。毎日交替して見守ります。

活動頻度		
(1) 夜間パトロール	月に3回	第2土曜日、第4金曜日 第3金曜日
(2) 見守り活動		月曜日～金曜日
(3) 青色回転灯装備車両による子ども見守りパトロール	月2回	19時～20時 22時～23時 登下校時間
(4) 各種行事会場での補導活動	年6回ほど	14時～16時

  

活動効果		
(1)	声かけ事案等の子どもに対する事案が減少した	
(2)	地域の皆さんが日頃から子どもたちに対して目を向けるようになった	
(3)	子どもたちが挨拶をするようになった	

青色回転灯装備車両による子供の見守りパトロールは、月2回、14時から16時ということで、補導員さんを中心にPTAや学校の先生方にも同乗していただいて、子供たちの登下校や放課後の様子を一緒に見ながらパトロールしています。各種行事会場での補導活動は年に6回ほどやっています。

## 活動の効果と今後の課題

活動の効果としましては、子供への声掛け事案等が一時非常に多かったのですが、これが目立って減少しました。また、地域の皆さんが日頃から子供に対して目を向けるようになったことも実感します。それから、子供たちがあいさつをするようになりました。

今後の課題は、とにかくこの防犯活動を継続させて、さらに活発化するために、参加者を増やしたいと思っています。20～30歳代の現役子育て世代や、40～50歳代で子育てに一段落した世代にも、一層活動への参加を促すように働きかけていきたいと考えています。

## 質疑応答

- 質問 マニュアルを作成したのはどういう理由ですか？
- 回答 最初は特にマニュアルを使わずに活動をしていました。いろんな会議などで参加した方にパトロールの説明をしますが、小中学校の保護者の皆さんや地域の皆さんというのは、毎回参加される方が違って全くパトロールの状況が分からずに来られる方が多く、「どういうことを重点に回ればいいんですか」とか「何かマニュアルがあれば我々も分かりやすい」といった要望があったので、私どもが活動の中で気付いたことをマニュアルにして、いまはそれを参加していただいている団体の皆様方に事前にお配りをしています。パトロールを分かりやすく説明するために作りました。